

教育方針は子ども環境管理士と同じ 丁寧な子育ては保育士も育てる



ながせ かずこ
長瀬 数子 さん
園和北保育園 園長
2級子ども環境管理士
兵庫県

保育士を目指す学生さんにひと言

「環境問題はこの先もずっと続いていきます。そのなかで、世の中のことを知っておく、自分の足下のことを知っておく、そういうことに気付ける人になれば、これまで関心のなかったことにも気付けるようになります」



土づくりから始まったトウモロコシの栽培も最終段階。みんなで皮をむいて、おひさまに干します。



『サテライト会場』^{*}第1号は兵庫県。そんな自然への取り組みに熱心な当園には、子ども環境管理士の目指すところと同じ教育方針を持つ園がありました。自然の保育力を活かした保育は、子どもたちはもちろん、保育士や家庭、地域も育てます。

園を挙げて資格に挑戦 知識や考え方を実践に活かす

水と緑が豊かな環境共生型の地域づくりを目指す兵庫県にあって、森を中心にしたまちづくりを100年もの年月をかけて推進しようという「尼崎21世紀の森づくり」に取り組まれるなど、自然への思いが深い尼崎市。保育所の数は中核市の中で1位、幼稚園は2位、市立小学校は3位と(市公式サイトより)、子育てする人にとっても優しい、活気のある街です。

そのようななか、猪名の森保育園では園を挙げて『子ども環境管理士資格試験』に挑戦しています。園長の長瀬さんはもちろん有資格者。園に届いたダイレクトメールを見て興味を持ったのがきっかけのことですが、「自身の合格後は園にお勧めのみなさんにも受験を勧め、昨年度も多くの子ども環境管理士が誕生しました。

しかしなぜ、この資格を保育士のみなさんに勧めるのですか? 「子ども環境管理士の知識は園の教育方針を実践

するために活かせるし、内容は保育士ならば気付いていなければならぬことだと思っただけです」 自分に自信を持ち自立する子、健康な心と体で過ごす子、よく見てよく聞いてよく感じる子、思いやる心を大切にできる子、そして、自分の目標を見つけて生活する子。――園の教育方針は、子ども環境管理士が育てたい子ども像そのものです。

また長瀬さんは、子どもたちのための自然体験や生活体験の場づくりを通して、人とどう振舞うべきかを保育士のみなさんに理解してもらいたいと願っているそうです。「大人の振る舞いや態度は、子どもたちに確実に伝わります。だから、良い振る舞いや態度は子どもたちを健全に育てるのです」 たこえは、子どもたちの生きものへの接し方が変わり、虫はオモチャではなく大切なお友だちになりました。家に帰れば無駄な電気は自ら消すようにも、「一人ひとりが普段の生活のなかで知ること・行動することが、子どもたちを中心に、園から家庭へ、そして社会にも行き渡っていくのです。

も環境管理士資格試験』で多くの合格者を輩出していますが、勉強はどのようになされていますか? 「まずは過去問題を解いてみることに。エネルギー問題などについては職員全員が研修を受けます。それと大事なのは、やはり普段の保育活動です。どうすれば子どもたちが自然と触れ合えるか、どうすればエゴな生活が出来るかなどを考え、お互いに刺激し合うことが、結果的に勉強になっているのだと思います」 考えること、体験することが、とても重要なことですね。切磋琢磨できる仲間がいるという環境も羨ましいです。

園舎の屋上「こしらえた草地にはたくさんのお花が咲いて、子どもたちがよく来て、日常的に自然と触れ合える素敵な園庭ピクトープです。自然の中にお出かけしての観察や土づくりから始める野菜づくりは、自然のめぐみや大切さ、季節の移ろいを体感させてくれます。また、太陽光パネルを設置し、エネルギーやエゴの取り組みも充実。園が出来て8年になるそうですが、こうした子どもたちと自然との関わりは設立当初から意識して取り組んでこられたのだとか。

「社会的な背景を考えたとき、一人ひとりが普段の生活のなかでこのようなくことを知ることが大切だと思うんです」

子どもたちのことを考えるのは 大きな学びとなる

ところで、今これをお読みの方々が最も惹かれる関心事の一つ、「こ

「自然がもつ保育力を最大限に活かした丁寧な保育」、子ども環境管理士への合格はあくまでその結果の一部です。長瀬さんの取り組みからは、そのことがよく分かりました。



子どもたちのための自然体験・生活体験の場づくりは、巡りめぐって保育士のみなさんも育てます。子ども環境管理士がたくさん!



自然のめぐみを日常で体感、屋上はまるで地面の上のお庭のよう。いろいろな植物があり、いろいろな生きものたちがよってきます。

^{*}『サテライト会場』は、子ども環境管理士の試験において、申請により開設できる自主運営の会場です。正規の試験会場の無い地域での受験のほか、園や保育団体、企業を挙げての受験にもご活用いただけます。なお、これとは別に、保育者の養成校を対象とした学生向けの『キャンパス受験』の制度もあります。